

第1回「総合的な学習の時間」

ガイダンス



芝浦工業大学柏中学高等学校

本時の内容

1. 今年度の総合的な学習の時間について
2. 本時の活動について

本時の内容

1. 今年度の総合的な学習の時間について
2. 本時の活動について

授業担当者

今年度は以下の6名の教員で授業を担当

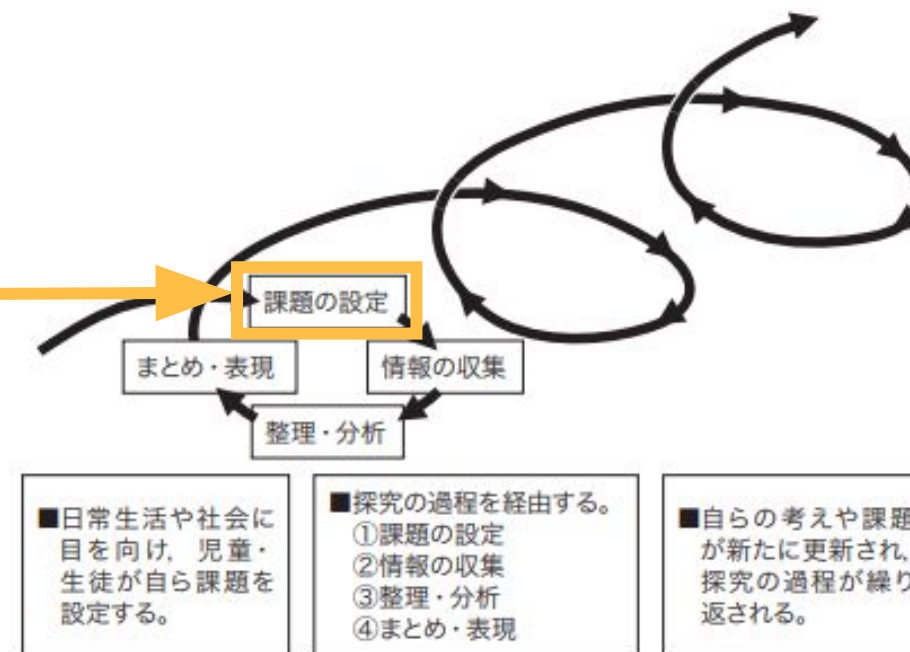
- ❑ A(探究/数学・中1副担任)
- ❑ B(探究/理科・中3担任)
- ❑ C(保健体育・中1副担任)
- ❑ D(英語・中1副担任)
- ❑ E(技術・中1担任)
- ❑ F(数学・中1副担任)

1. 今年度の総合的な学習の時間について

「総合的な学習の時間」って何をするの？

自分の興味・関心に基づいたテーマで「探究」する

自分の興味・関心
に基づく課題



【出典】文部科学省(2017)『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編』

要するに、自分の好きなこと、興味のあることをおもいっきり掘り下げる時間！

1. 今年度の総合的な学習の時間について

中1の「探究」って具体的に何をするの？

興味関心のあることについて、レポートにまとめ、表現する



最終的にポスターセッション形式で発表

昨年のタイトル(一部)

自分でテーマを決めているため、さまざまなテーマに取り組んでいる

- 富岡製糸場の工女たち
- 石鹼について～石鹼が私達にくれたこと～
- 銀河英雄伝説と民主主義～これからの民主主義の付き合い方～
- 微生物とリサイクルの関係～微生物が世界を救う！？～
- その名は大地の公園！ジオパークの何がすごい？

なんで、探究をするの？(先生たちの思い)

「自分を知る」と「調べて書く」



自分を知る

「自分が何に興味があるのか？」
「自分は何を大切にしているのか？」を見つめ
「自分がこれからどう生きていきたいか？」
「どうありたいか？」を考えていくきっかけに

自分の生き方・在り
方を考えるために



調べて、書く

感想文のように「感じたことをありのままに書く」のではなく、「考えたことをデータをもとに、論拠を示し、他人に伝わるように書く」ことができるようになってほしい

高校で課題研究を
取り組むための
土台作り

私たちが生きる社会

社会の複雑性が増し、予測困難な時代

V

Volatility



変動性

AIやSNSの普及などにより、ライフスタイルが急激に変化する状況

U

Uncertainty



不確実性

情報量が不十分で、情報の真偽が不明瞭なため予測ができない状況

C

Complexity



複雑性

グローバル化などの影響で、課題が複雑化し、単純に解決するのが難しい状況

A

Ambiguity



曖昧性

物事の解釈に幅があり、対象の意味や理解があいまいな状況

なんで、「探究」するの？

先が見えない時代に、自分がどう生きていくかを考えていくために

昔

こう生きるべしが強要された



今

こう生きるべしが強要されない

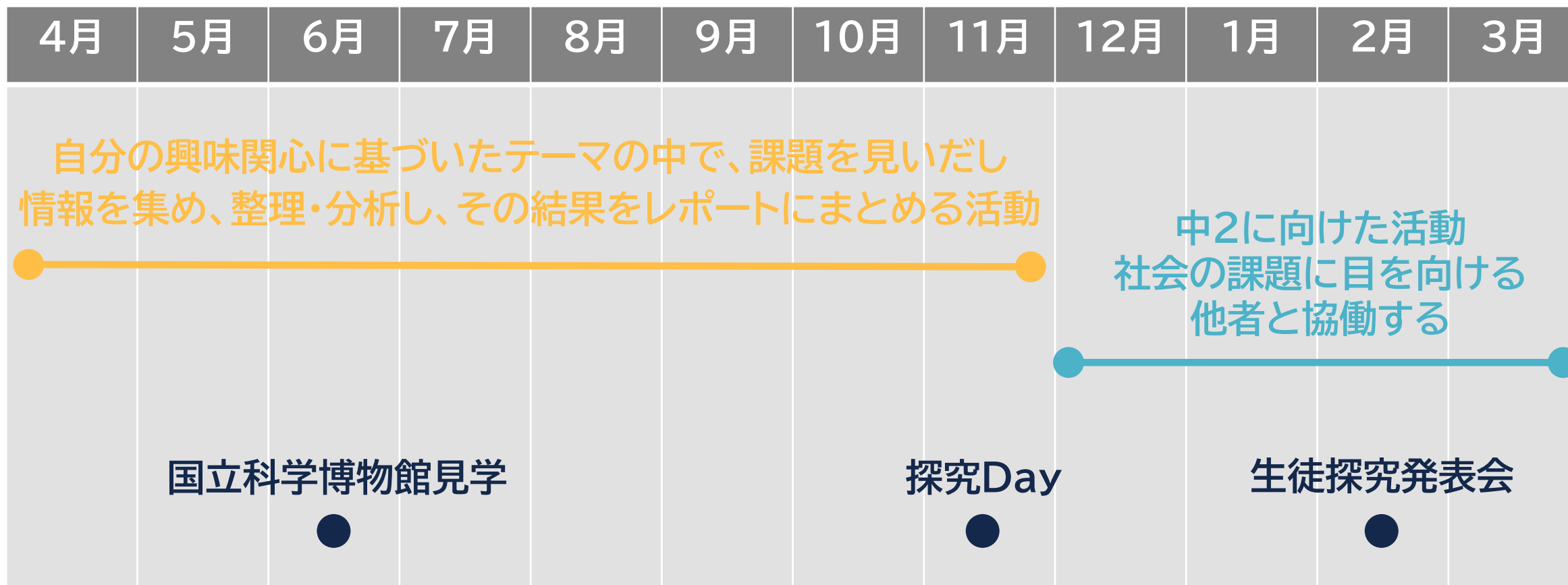


どう生きていくかを自分で考えていく必要がある

1. 今年度の総合的な学習の時間について



1年間の流れ(予定)



1. 今年度の総合的な学習の時間について



学習の手引き

教科・科目名 : 総合的な学習の時間		
履修学年・対象	I 年	共通 2 単位
使用教科書	出版社：啓林館	名称：課題研究メソッドZERO
副教材 (授業で使用)	出版社：	名称：
	出版社：	名称：
授業の目標・ 内容・進め方	<目標> 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の在り方生き方を考えていくための資質・能力（SSコンピテンシー）を次のとおり育成することを目指す。 （1）探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。（研究基礎力に関わる項目） （2）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。（問題発見力・問題解決力に関わる項目） （3）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの個性を生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。（自律的活動力に関わる項目） <主な学習活動> 自分の興味関心に基づいたテーマの中で、身近な疑問を調べ、課題を見だし、情報を集め、整理・分析し、その結果をまとめ表現する活動	

1. 今年度の総合的な学習の時間について



学習の手引き

成績評価の方法	観点	評価方法
	研究基礎力 (知識・技能)	授業内での学習、制作物(シート、スライド、作品等)、振り返り等を踏まえ、総合的に評価する。 ＜具体的な資質・能力＞ 教科の知識・技能/教科等横断的な知識・技能/手続き的知識
	問題発見力 問題解決力 (思考・判断 ・表現)	授業内での学習、制作物(シート、スライド、作品等)、振り返り等を踏まえ、総合的に評価する。 ＜具体的な資質・能力＞ 仮説構築力/批判的思考力/メタ認知能力 協働する力/表現力/情報活用能力
	自律的活動力 (主体的に 学習に取り組む 態度)	授業内での学習、制作物(シート、スライド、作品等)、振り返り等を踏まえ、総合的に評価する。 ＜具体的な資質・能力＞ 未知への好奇心/粘り強さ/社会に開かれた姿勢

1. 今年度の総合的な学習の時間について



学習の手引き

授業計画

4月	ガイダンス、探究活動（問題意識の形成）
5月	探究活動（探究の基本的な手法に関する活動）
6月	探究活動（リサーチクエスションの導出/文献調査）
7月	探究活動（文献調査/整理・分析）
夏休	探究活動（文献調査/整理・分析/レポート作成）
9月	探究活動（レポート作成）
10月	探究活動（スライド作成/発表練習）
11月	探究活動（発表会/振り返り）
12月	次年度に向けた活動（社会の課題に関する活動）
1月	次年度に向けた活動（他者との協働に関する活動）
2月	次年度に向けた活動（データ分析/社会調査に関する活動）
3月	次年度に向けた活動（研究倫理に関する活動）

1. 今年度の総合的な学習の時間について



学習の手引き

学習を 深めるために (推薦図書など) 凡例 参=参考書 問=問題集 推=推薦図書 ｂ:易しい 井:難しい ∞:高度な内容	種類	記号	書名	著者	定価(円)	出版社
	推	ｂ	ちくまQブックス マイテーマの探し方 探究学習ってどうやるの？	片岡則夫	1,210	筑摩書房
	推	井	改訂版 学びの技 14歳からの探究・論文・プレゼン テーション	登本洋子 伊藤史織 後藤芳文	1,980	玉川大学出版部

本時の内容

1. 今年度の総合的な学習の時間について
- 2. 本時の活動について**

2. 本時の活動について

じぶん観察シート作成

次回の授業でお互いに紹介しながら質問し合う活動を行います

The template is titled 'じぶん観察シート' (Myself Observation Sheet) in the center. It features several question boxes and icons:

- Top left: A lightbulb icon with the question '得意なことは何？' (What are you good at?).
- Top center: A person icon with the question '幸せを感じるのはどんなとき？' (When do you feel happy?).
- Top right: A starburst icon with the question '幼い頃大切にしていたものは？' (What was precious to you in childhood?).
- Middle left: A heart icon with the question '人生で一番努力したことは？' (What was the biggest effort in your life?).
- Middle center: A speech bubble icon with the question '苦もなく続けられることは？' (What can you continue to do without difficulty?).
- Middle right: A notepad icon with the question '放っておけないことは？' (What can't you leave alone?).
- Bottom left: A book icon with the question '好きな本は？' (What is your favorite book?).
- Bottom center: A name tag icon with the question '名前：' (Name:).
- Bottom right: A cloud icon with the question '好きな [] は？' (What is your favorite []?).
- Far left: A box with the question '他の人が大変そうにしているけど、自分は楽にできることは？' (What can you do easily while others find it difficult?).
- Far right: A starburst icon with the question '将来やってみたいことは？' (What do you want to do in the future?).
- Bottom left (small): A graduation cap icon with the question '好きな教科や学問分野は？' (What is your favorite subject or field of study?).
- Bottom center (small): A video player icon with the question '好きなYOUTUBEチャンネルは？' (What is your favorite YouTube channel?).
- Bottom right (small): A computer monitor icon with the question '最近気になったニュースは？' (What news has caught your attention recently?).
- Far right (small): A thought bubble icon with the question '今年チャレンジしたいことは？' (What do you want to challenge this year?).
- Far right (small): A thought bubble icon with the question '最近、印象に残っている出来事は？' (What recent event has left a strong impression on you?).

🕒 20分

目標

芝柏の教育活動全体を通して育む資質・能力

総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の在り方生き方を考えていくための資質・能力(SSコンピテンシー)を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。(研究基礎力に関わる項目)
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。(問題発見力・問題解決力に関わる項目)
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの個性を生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。(自律的活動力に関わる項目)

2. 本時の活動について

SSコンピテンシー

芝柏の教育活動全体を通して育む資質・能力

育成すべき資質・能力		概要
研究 基礎 力	 教科の知識・技能	各教科の学習を通じて獲得する知識・技能。 SSコンピテンシーの根幹であり、より専門的な知識の獲得、新しい知識の創造における基盤となる。
	 教科等横断的な知識・技能	各学問分野の原理や概念、コンテンツを、別の学問分野の内容と関連づける知識・技能。 複雑化する問題に対して解決策を見出すために必要な新しい知識を生み出す力。「教科の知識・技能」が前提となる。
	 手続き的知識	知識を活用するための様々な方法やプロセスについて理解し、実践できる力。 様々な学びに応用できる思考パターン（デザイン思考やシステム思考、またはその過程における手続き）についての知識。
問題 発見 力	 仮説構築力	観察や情報から問題解決のための仮説を立てる能力。 (問題の把握、目標の設定と研究の方向性確認、複数の解決法発想、関係要因・関連変数の予測ができる)
	 批判的思考力	情報を分析し、論理的に評価することで判断する力。 (複雑な問題について順序立てて考える、客観的な態度で解釈・判断する、結論をくだす際に証拠を重視することができる)
	 メタ認知能力	自分の学習や思考プロセスを自覚し、調整する能力。 (活動の過程をふりかえる、評価・分析する、そのうえで次の一手としてより良い手段をとることができる)
問題 解決 力	 協働する力	他者と協力し、共に成果を上げる能力。 (協働学習・グループワークの重要性を認識する、適切に自分の個性を活かしながら他者と関わることができる)
	 表現力	コミュニケーションをとる相手の状況をふまえて、思考や感情を的確に伝える力。 (要点の整理、適切な話し方・発表の仕方についての工夫、図や表を上手に用いた発表ができる)
	 情報活用能力	情報を適切に収集、分析し、有効に活用する力。 (メディアの特性をふまえた情報収集、表やグラフでの整理、統計分析、目的や意図に応じた媒体利用と表現、クラウドの利活用ができる)
自律 的 活動 力	 未知への好奇心	新しいことへの探究心や挑戦する意欲。 (何事にも興味関心を持つ、未経験の課題にもよるこんで取り組む、新たな事柄に対しても楽しんで取り組む姿勢をもつ)
	 粘り強さ	困難に直面しても諦めずに取り組む姿勢。 (明快な答えが出るまで考える、物事を学ぶときは徹底的に調べる、予期しない出来事は原因がわかるまで調べる姿勢をもつ)
	 社会に開かれた姿勢	社会の一員としての自覚と責任感を持ち、積極的に関わる態度。法人の理念「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」の実現。 (自己の学びと社会事象とのつながりを意識する、研究の正確さ・正当性を高め倫理を遵守する姿勢をもつ)

2. 本時の活動について

SSコンピテンシー

研究基礎力(「知識・技能」)

	教科の知識・技能	各教科の学習を通じて獲得する知識・技能 SSコンピテンシーの根幹であり、より専門的な知識の獲得、新しい知識の創造における基盤となる。
	教科等横断的な知識・技能	各学問分野の原理や概念、コンテンツを、別の学問分野の内容と関連づける知識・技能 複雑化する問題に対して解決策を見出すために必要な新しい知識を生み出す力。「教科の知識・技能」が前提となる。
	手続き的知識	知識を活用するための様々な方法やプロセスについて理解し、実践できる力 様々な学びに応用できる思考パターン(デザイン思考やシステム思考、またはその過程における手続き)についての知識。

SSコンピテンシー

問題発見力(「思考・判断・表現」)

	仮説構築力	観察や情報から問題解決のための仮説を立てる能力 (問題の把握、目標の設定と研究の方向性確認、複数の解決法発想、関係要因・関連変数の予測ができる)
	批判的思考力	情報を分析し、論理的に評価することで判断する力 (複雑な問題について順序立てて考える、客観的な態度で解釈・判断する、結論をくだす際に証拠を重視することができる)
	メタ認知能力	自分の学習や思考プロセスを自覚し、調整する能力 (活動の過程をふりかえる、評価・分析する、そのうえで次の一手としてより良い手段をとることができる)

SSコンピテンシー

問題解決力(「思考・判断・表現」)

	協働する力	他者と協力し、共に成果を上げる能力 (協働学習・グループワークの重要性を認識する、適切に自分の個性を活かしながら他者と関わることができる)
	表現力	コミュニケーションをとる相手の状況をふまえて、思考や感情を的確に伝える力 (要点の整理、適切な話し方・発表の仕方についての工夫、図や表を上手に用いた発表ができる)
	情報活用能力	情報を適切に収集、分析し、有効に活用する力 (メディアの特性をふまえた情報収集、表やグラフでの整理、統計分析、目的や意図に応じた媒体利用と表現、クラウドの利活用ができる)

SSコンピテンシー

自律的活動力(「主体的に学習に取り組む態度」)

	未知への好奇心	新しいことへの探究心や挑戦する意欲 (何事にも興味関心を持つ、未経験の課題にもよろこんで取り組む、新たな事柄に対しても楽しんで取り組む姿勢をもつ)
	粘り強さ	困難に直面しても諦めずに取り組む姿勢 (明快な答えが出るまで考える、物事を学ぶときは徹底的に調べる、予期しない出来事は原因がわかるまで調べる姿勢をもつ)
	社会に開かれた姿勢	社会の一員としての自覚と責任感を持ち、積極的に関わる態度。法人の理念「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」の実現 (自己の学びと社会事象とのつながりを意識する、研究の正確さ・正当性を高め倫理を遵守する姿勢をもつ)

2. 本時の活動について

質問紙調査

フォーム(Classroom配信)に答え、終わった人はじぶん観察シート作成

育成すべき資質・能力		概要
研究 基礎 力	 教科の知識・技能	各教科の学習を通じて獲得する知識・技能。 SSコンピテンシーの根幹であり、より専門的な知識の獲得、新しい知識の創造における基盤となる。
	 教科等横断的な知識・技能	各学問分野の原理や概念、コンテンツを、別の学問分野の内容と関連づける知識・技能。 複雑化する問題に対して解決策を見出すために必要な新しい知識を生み出す力。「教科の知識・技能」が前提となる。
	 手続き的知識	知識を活用するための様々な方法やプロセスについて理解し、実践できる力。 様々な学びに応用できる思考パターン（デザイン思考やシステム思考、またはその過程における手続き）についての知識。
問題 発見 力	 仮説構築力	観察や情報から問題解決のための仮説を立てる能力。 (問題の把握、目標の設定と研究の方向性確認、複数の解決法発想、関係要因・関連変数の予測ができる)
	 批判的思考力	情報を分析し、論理的に評価することで判断する力。 (複雑な問題について順序立てて考える、客観的な態度で解釈・判断する、結論をくだす際に証拠を重視することができる)
	 メタ認知能力	自分の学習や思考プロセスを自覚し、調整する能力。 (活動の過程をふりかえる、評価・分析する、そのうえで次の一手としてより良い手段をとることができる)
問題 解決 力	 協働する力	他者と協力し、共に成果を上げる能力。 (協働学習・グループワークの重要性を認識する、適切に自分の個性を活かしながら他者と関わることができる)
	 表現力	コミュニケーションをとる相手の状況をふまえて、思考や感情を的確に伝える力。 (要点の整理、適切な話し方・発表の仕方についての工夫、図や表を上手に用いた発表ができる)
	 情報活用能力	情報を適切に収集、分析し、有効に活用する力。 (メディアの特性をふまえた情報収集、表やグラフでの整理、統計分析、目的や意図に応じた媒体利用と表現、クラウドの利活用ができる)
自律 的 活動 力	 未知への好奇心	新しいことへの探究心や挑戦する意欲。 (何事にも興味関心を持つ、未経験の課題にもよるこんで取り組む、新たな事柄に対しても楽しんで取り組む姿勢をもつ)
	 粘り強さ	困難に直面しても諦めずに取り組む姿勢。 (明快な答えが出るまで考える、物事を学ぶときは徹底的に調べる、予期しない出来事は原因がわかるまで調べる姿勢をもつ)
	 社会に開かれた姿勢	社会の一員としての自覚と責任感を持ち、積極的に関わる態度。法人の理念「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」の実現。 (自己の学びと社会事象とのつながりを意識する、研究の正確さ・正当性を高め倫理を遵守する姿勢をもつ)

 35分